



「言葉と作法」

小学部 沢田 さおり

あんなに暑くて長かった夏が終わり、先日は手稲山に初冠雪が見られました。今年の秋は本当に短く感じますね。玄関前の花壇に植えたコキアもいつの間にか真っ赤に色づきました。幼稚部の子どもたちには「真っ赤になったね。もう秋だね。」と季節の移り変わりを感じるように、小学部の児童には「コキアが真っ赤に紅葉したね。」とこの季節ならではの言葉を使って、中学部の生徒には季節の移り変わりについて、自然の仕組みや人々の生活との関わりに広げて話すでしょうか。日常の様々な場面に、言語活動の機会を見つけることができます。聾学校ではこれまでずっと言語活動を大切にしてきました。最近では、手話の活用や補聴器や人工内耳等の性能向上を背景に、子どもたち同士や子どもと教師のコミュニケーションが円滑かつ活発に行われています。しかし、それでも普段の生活の中でのルールやマナーをはじめ、一見すると当たり前のように感じられることを、子どもたちが知らないのではないかと感じる場面も見られます。この理由について私は、言葉でのやり取りを意識して行うことが少なくなってきたのではないかと感じています。



子どもは小さな大人ではありませんから、分からないことがたくさんあって当然です。ですから、発達段階に応じて必要な言葉を伝えていくことが大切です。昔（昭和の時代に…）親や先生から言われたことは、私たち大人は分かっていることばかりですが、もしかすると今の子どもたちは聞いたことがないこともあるかもしれません。「あいさつは、人より先に自分から。」「心を込めて、ごちそうさまでした。」「訪問したら、『おじゃまします。』」「席を離れるときは、椅子を入れます。」「食べ物をお口に含んだまま、しゃべりません。」「叱ってくれるのは愛されている証拠です。」「遅刻はしません。他の人に迷惑をかけます。」…思い出したらきりがありませんが、たくさんのお話を教えてもらってきました。言葉と作法はつながっています。言葉で教えられ、初めて考えて行動することができるようになります。自分の考えや気持ちに基づいて責任をもって行動することが、自分で選んで生きる、つまり自立して自由に生きていくことにつながっていくのだと思います。

少子化が進み、スマホやタブレット端末で一人時間を過ごすことが増えている令和の時代。だからこそ、意識して子どもたちと話をしていきたいものです。支柱が多い方が土台は安定します。自分の学級も隣の学級も、うちの子もよその子も、みんなで子どもを支えていけるように言葉を掛け合っていきましょう。

幼児・児童・生徒の 活動の様子

幼稚部 秋の遠足

天気に恵まれた中、秋の遠足が行われました。年少組はママやパパと元気に動物園を歩くことができました。また、朝の話し合いで決めた見たい動物を見ることができました。年中組はキリンを見に行く途中で「オーオー」というライオンの大きな遠吠えが聞こえ、元気に吠えているライオンに興味深そうに見ていました。年長組は午後から「飼料室ガイド」に参加しました。動物たちの餌が大きな冷蔵庫や冷凍庫に入っていて、カチコチに凍っている肉や魚を見せてもらいビックリしていました。一番驚いたのは冷凍されたヒヨコと目が合ったことでした。がんばって歩いた後のお弁当やおやつはとってもおいしくて、楽しい秋の遠足となりました。
(文責：松田よ)



聾学校スポーツ交歓会

今年度、道内の聾学校同学年との絆を深めることを願い、「学年対抗戦」を開催しました。ストラックアウト、シッティングバレー、ポッチャ、ナンバーズタッチの4種目で競い合い、チームメイト同士の声掛けやサインエールが飛び交いました。「大丈夫だよ!」「おーすごい!」「がんばれ!」の言葉が、競技を超えた絆を育みました。他校との交流を通じて、同学年の仲間との絆も深まり、心温まる聾学校スポーツ交歓会となりました。この経験が、子どもたちの成長の一助となることを願っています。
(文責：木村)



青色防犯パトロール隊出発式

本校駐車場で、青色防犯パトロール隊の出発式が行われました。青色防犯パトロール隊は、地域のボランティアの方々が警察の許可を受けて行っている防犯活動です。幼稚部や小学部低学年の子どもたちは、パトカーや白バイを見せってもらうことで「安全を守る仕事」や「交通安全の大切さ」について学ぶ良い機会になりました。また、小学部高学年や中学部の子供たちは、「守られている安心感」や「感謝の気持ち」をもち、「防犯意識を高める」ことにつながったのではないかと思います。地域と共に生きる学びとして、くらしを支える大切な取組であることをご家庭でもお話ししていただければと思います。
(文責：沢田)



11・12月の行事予定は本校 HP から御覧ください。

※今年度の「札聾だよりは」は年間7号の発行を予定しています。これからも活動の様子をお知らせします。